

「信州 山の日」(仮称)の制定について

長野地方事務所 林務課

1 制定の趣旨

長野県民共通の財産であり、貴重な資源である「山」に感謝し、「山の恵み」を将来にわたり持続的に享受していくため、「山」を守り育てながら活かしていく機運の醸成の機会として、長野県独自の「山の日」を平成26年度に定める。

※ 定義 山：3,000m級の山岳・高山から身近な里山までの全てを対象とする。

2 期 日

7月第4日曜日

- ・登山を始めとする様々な野外活動が活発に行われるため、3,000m級の高山地帯から身近な里山まで幅広く参加することが可能な季節(7月から9月)で、天候の安定する時期(梅雨明け)であること
- ・次代を担う子ども達が「山」に触れ、親しみを持つため、様々な行事等に参加することが可能な休日(概ね夏休みに入る時期)であること

※ なお、7月15日から7月31日までを、各種行事や情報発信等を集中的に実施する期間とする。

3 名 称

「信州 山の日」

○ 「信州」とする理由

- ・県内外を問わず、子どもからお年寄りまで幅広く親しまれる日とするため
- ・「山の日」の制定により、県民等の責務や制限、行政処分等の行為が発生するものではないため「長野県」という特定の行政区域を示す呼称ではなく、「県民等の意識の高揚や機運の醸成」を目的に、歴史、風土、文化、環境、教育、経済、観光、産業、地域社会、健康、精神性等、様々な分野における「山」の価値や課題等を包含し、「山」を総体として捉えていくため

○ 表記方法

「信州」は漢字表記とし、「しんしゅう」と読み、「信州」と「山の日」の間に空白(半角)を設ける。

4 「山の日」を契機とした取組

「山の恵み」に関し、「親しむ・学ぶ・守る」という3つの視点に立って、今後、以下に掲げるような取組を部局連携により検討していく。

- ・県による「山の日」の意義を広く周知するための核となる行事の開催
- ・県内各地において地域が自発的に活動し、機運の醸成を図る取組
- ・市町村、民間団体、企業、県民等と協力・連携した取組の推進

※ 県内各地で行われる様々な取組を、県、市町村、関係団体、企業、県民等の連携により集約し、一元的に情報発信する仕組みを構築

5 今後のスケジュール

県議会9月定例会における説明等をはじめ、10月に県民、市町村、関係団体等を対象に意見を募集し、県の考え方を固め決定する方針

長野県が進めている県独自の「山の日」の制定に向けた検討の検討経過

長野県林務部

1 「山の日」を巡るこれまでの経過

(1) 県議会の動き

- ・H5.9月議会：「海の日」の制定に向け、「海の日・山の日」の制定に関する意見書議決
→ 平成7年：国民の祝日に関する法律改正、「海の日」制定(H8 施行)
- ・H9.2月議会：「森林づくりに県民の意識を向けさせるための県独自の「山の日」の制定」に関する質問 → 知事：県民気運の醸成が必要と答弁
- ・H25.2月議会：「総合5か年計画の柱の一つである山岳観光の振興等を図るための『山の日』の制定」に関する質問 → 知事：H26.制定に向け具体的に検討と答弁

(2) 県の取組

- ① 平成25年度を期首とする5か年間の総合計画として、「しあわせ信州創造プラン」を策定し、「世界水準の山岳観光地づくり」を推進
- ② 民間との協働による山岳環境保全の取組や山岳遭難防止対策を拡充するとともに、新たな取組として滞在型観光地づくりを推進
- ③ 県民に身近な「里山」の森林整備を集中的に進める「森林づくり県民税」の継続
- ④ 平成28年春の第67回全国植樹祭を開催

(3) 都道府県独自の制定の状況(H25.4.1現在)

区分	「山の日」等を制定()数値：月間等の併設		「山」や「森」に関する月間等を設定	なし
	山の日	森の日		
府県	26	13 (3)	5	16

- ・山梨県・岐阜県：8月8日(「八・八」山並みに見立て、夏休み期間)
- ・静岡県：2月23日「富士山の日」(ふ(2)、じ(2)、さん(3)の語呂合わせ)
- ・奈良県：7月第3月曜日「奈良県山の日・川の日」(「海の日」に重ね合わせ)

(4) 長野県の「山」の特徴・強み

区分	内容
全国第1位	<ul style="list-style-type: none"> ・国土地理院発表の「3,000峰」：15座(全国：23座) ・「山と溪谷社」調べ「山小屋数」：173軒(全国707件)
全国有数	<ul style="list-style-type: none"> ・森林面積：106万ha(全国第3位、第1位：北海道(554万ha)) ・自然公園面積：28万ha(全国第3位、第1位：北海道(87万ha)) ・スキー場の数：77箇所(全国第2位、第1位：北海道(85箇所))
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日本三大雪渓(剣沢大雪渓、白馬大雪渓、針ノ木大雪渓) ・日本三大美林(青森ヒバ、秋田スギ、木曾ヒノキ)

(5) 長野県の「山」に関する課題等

- ・過去10年間で、「山岳・高原・湖沼」の観光利用者数は約1,100万人余減少
- ・山小屋トイシは、厳しい立地条件から建設費等がかかり整備が進みにくい状況
- ・シカによる被害は農林業にとどまらず、交通事故の多発や高山植物の食害にも拡大
- ・小学校ではスキー教室、中学校では登山学習が盛んだが、内容の拡充が必要
- ・県として記念日の制定はなし(施策等に関する月間指定等のみ)

2 長野県の「山の日」(仮称)の制定に向けた検討行程

- ① 県政モニターによる県民意識調査の実施(H25.4)
- ② 長野県「山の日」懇話会を開催(H25.6.5)し、制定趣旨・期日に関する議論
- ③ 第2回懇話会(H25.8.1)で「山の日」を契機とした取組に関する議論
- ④ 懇話会から知事に意見書を手交(H25.9.3)
- ⑤ 長野県の「山」を考えるシンポジウムの開催(H25.9.7)
- ⑥ 県の考え方公表、県民、市町村等への意見聴取し決定(H25年内)

3 平成25年度第1回県政モニターアンケート調査の結果

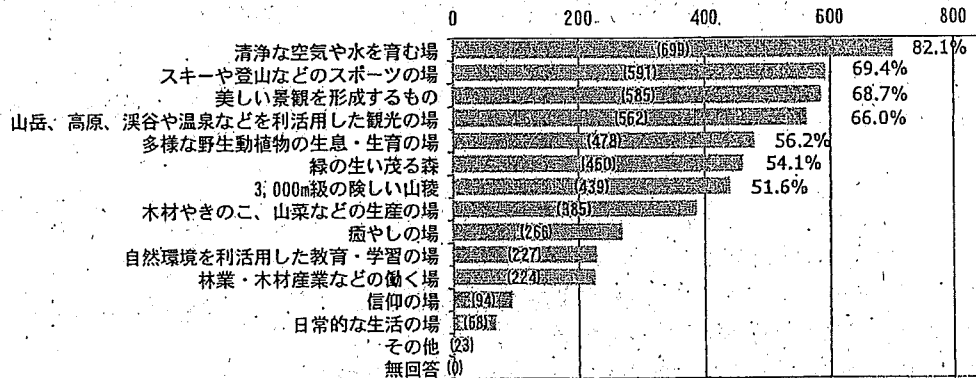
(1) 回答者数及び調査概要

851名(69.8%(全体:1,220名))に対し、「山」に関する8問のアンケートを実施

(2) 調査結果の概要

① 長野県の「山」に対するイメージ

「清浄な空気や水を育む場」が82.1%と高く、次いで「スキー等のスポーツの場」、
「美しい景観を形成するもの」、「山岳等を利活用した観光の場」等のイメージ。



② 長野県の「山」に対する興味

「興味がある(55.2%)」と「多少ある(33.0%)」とで約9割だが、年齢・性別では20歳代女性の約4割が「興味がない」又は「わからない」と回答。

③ 長野県の「山」との関わり

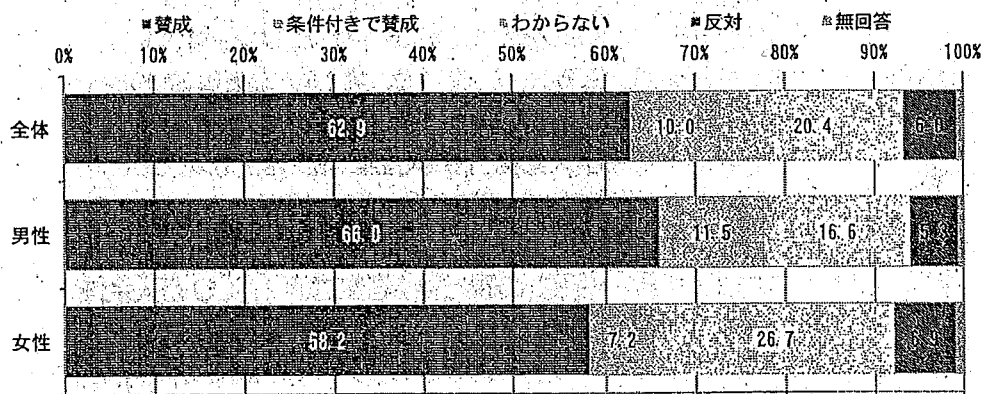
「観光(利用者)」が56.9%、「きのこ・山菜狩り」が45.7%、「登山等」が30.8%、「ウィンタースポーツ」が26.4%と様々な関わり方がみられる傾向。

④ 長野県の「山」に関する課題

5割以上が「オーバーユース」、「森林の荒廃」、「野生鳥獣被害」を課題と認識

⑤ 長野県の「山の日」(仮称)の制定

「賛成(62.9%)」と「条件付き賛成(10%)」とで約7割だが、年齢別では20歳代の40%が「わからない」と回答。



⑥ 長野県の「山の日」(仮称)の時期

「5月(33.2%)」、「7月(24.2%)」、「6月(20.5%)」、「8月(19.1%)」と多様。

⑦ 長野県の「山の日」(仮称)の名称

「山の日」が25.2%、次いで「信州(の)山の日」が18.8%。

⑧ 長野県の「山の日」(仮称)の取組

「環境保全活動(71.9%)」、「都市部への長野県の山のPR(59.1%)」が上位。

第 67 回全国植樹祭の開催決定について

長野地方事務所林務課

平成 25 年 8 月 9 日に開催された公益社団法人国土緑化推進機構理事会において、第 67 回全国植樹祭（平成 28 年春季）の開催県が長野県に決定しました。

全国植樹祭は、県民参加による森林づくりを進めるとともに、長野県の森林・林業をはじめ、さまざまな魅力を全国に発信し、その発展に寄与することを目的とするもので、9 月 12 日に林業、教育、経済、観光など幅広い県内関係者で構成される実行委員会を設立し、開催準備を進めています。

1 平成 25 年度の準備スケジュール

月	平成25年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中央・県												
国土緑推					(8.9理事会) 開催決定 (8.29総会) 副知事 出席							
長野県	●——→ 実行委員会 設立準備					実行委員会 設立・ 第1回総会 (9.12)				1/20 実行委員会 第2回総会 基本構想 決定	↑ 開催地 決定協議 ↓ 開催地 決定	基本計画 検討開始
						基本構想 検討開始 (9.19)	●——→					
※国土緑推とは 公益社団法人 国土緑化推進機構 の略称						実行委員会の下に「基本構想検討会」設置 【開催理念・開催地・開催規模等を検討】						

2 第 67 回全国植樹祭長野県実行委員会の概要

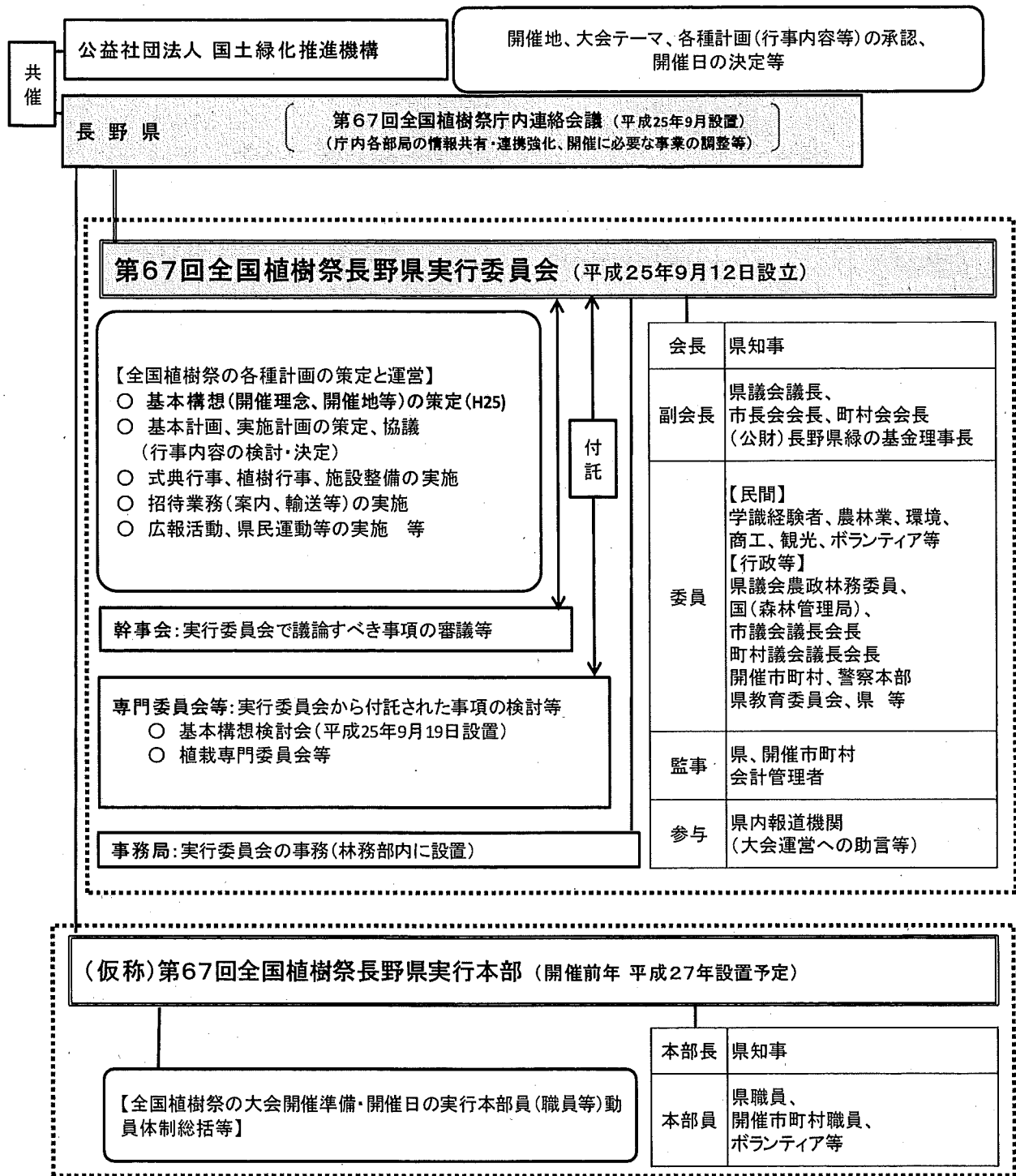
(1) 設立目的 第 67 回全国植樹祭を開催し、県民参加の森林づくりを推進する。

(2) 構成

・会長、副会長、委員	38 名	}	計 54 名
・監事	1 名		
・参与	15 名		

* 開催地決定後は、開催地の市町村長、地方事務所長などが加わる予定

3 第67回全国植樹祭の大会組織



4 基本構想検討会の概要

- (1) 設置目的 ・ 基本構想について調査及び審議し検討する専門的な委員会
- (2) 構成 ・ 座長 上原貴夫 長野県短期大学教授
・ 委員 民間有識者等 8名 (計9名)
- (3) 検討内容 ・ 全国植樹祭長野県実行委員会から付託された基本構想(案)の作成
【基本構想の検討内容】
- ①開催方針 (開催理念、大会テーマ、開催会場、開催規模)
 - ②式典行事、植樹行事、記念事業等、運営方法の基本的な考え方

5 基本構想(素案)における開催理念の骨子

- (1) 植えて、育て、利用する「森林・林業のサイクル」を、取り戻そう
- (2) 森林や身近な緑の恩恵を、もう一度見つめ直そう
- (3) 森林と共に生きる人々の思いを、伝えよう

基本構想素案について意見集約中

6 協力依頼事項

- 開催年においては、県下各地での分散植樹や緑化に関するイベントを行えるよう予算要求をしている。場所や内容について相談しながら順次選定し、平成 26 年春期を目安に決定したいのでご協力をお願いしたい。

検討内容

- (1) 10 広域(地方事務所単位)での植樹祭や緑化関連イベントの開催

【全国植樹祭の開催時期】

- ・平成 28 年の全国植樹祭の開催日は平成 27 年の夏～秋に決定される。
(5 月 22 日・5 月 29 日・6 月 5 日・6 月 12 日がその年の日曜日)
- ・全国植樹祭のリハーサルは開催日の 1 年前、1 ヶ月前と開催日の前々日及び前日に行う予定

【植樹会場について】

- ①サテライト植樹会場：式典会場決定後、交通アクセス等を考慮し、概ね 4 箇所所で県内外の招待者が植樹するサテライト植樹会場を設定予定(サテライト植樹会場+地域植樹会場)

【サテライト植樹会場の主な条件】

- ・大型バスが隣接地まで入れること
- ・アクセスが良いこと
- ・一人 1 本程度が植栽できる比較的平坦な場所

正式には式典会場決定後に地方事務所に依頼予定
県レベルで候補地の目安を

- ②地域植樹会場：植樹祭の開催に合わせ、各地域で実施している植・育樹祭(①以外)を関連イベントとして実施
「例として開催場所を学校林で開催し、児童、生徒の参加など」

【緑化関連イベント】

- ①記念苗木配布会：植樹祭開催日前に配布し、家庭で記念植樹
- ②森林教室、木工体験、物産展などのイベント

- (2) 苗木のスクールステイによる開催気運の醸成
参加を希望する少年団及び学校(小中学校～大学等)において、苗木を育てていただく取組
(実施要領については作成中)

資 料

松くい虫被害量の推移	1
松くい虫被害対策	6
「ナラ枯れ」被害の現状について	9

都府県別松くい虫被害量(被害材積)の推移(総数)

(単位:千m³)

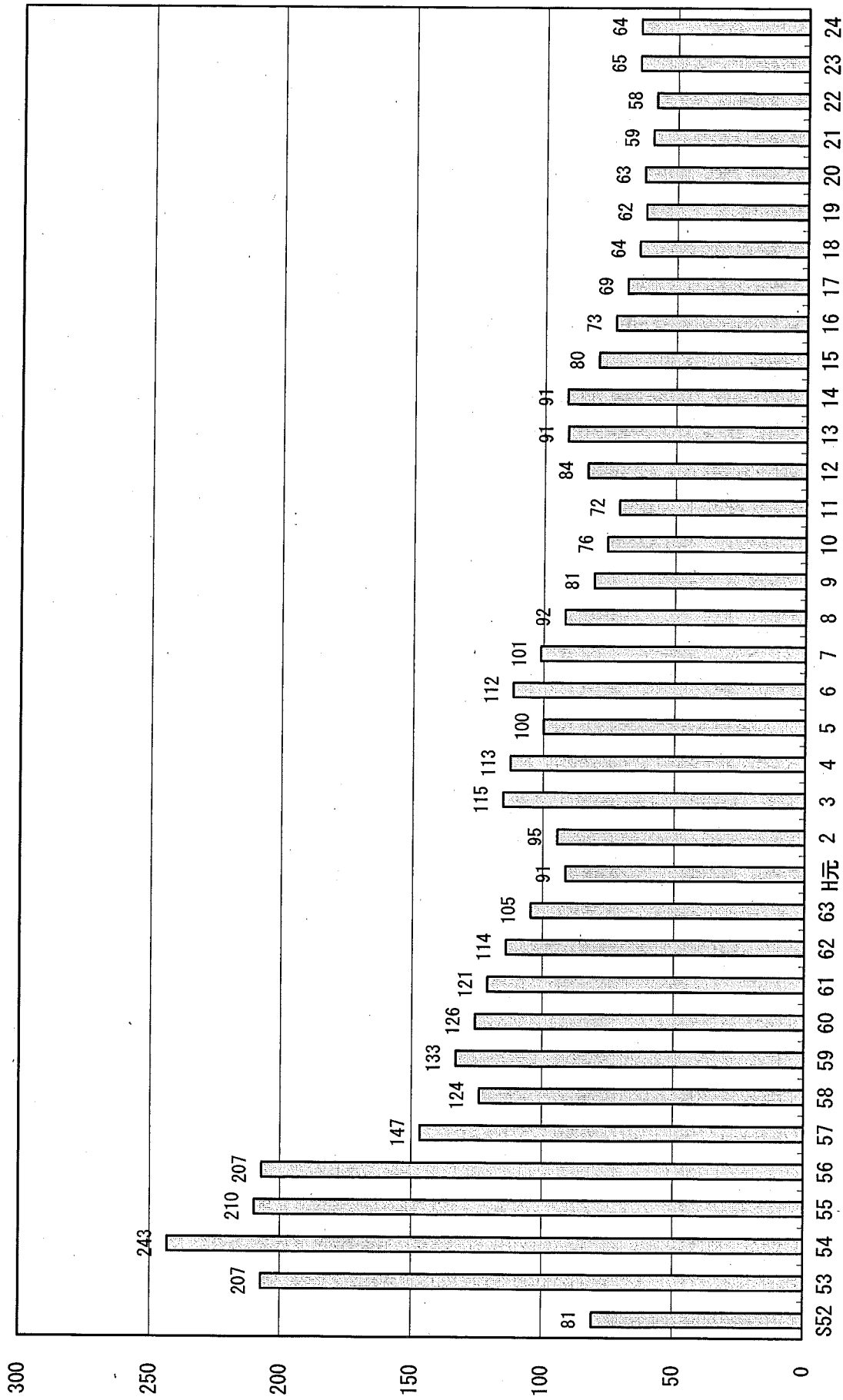
年度 区分	20	21	22	23	24	対前年度比
北海道	—	—	—	—	—	—
青森県	—	0.0	—	0.0	—	—
岩手県	45.3	42.4	44.9	39.7	43.1	109%
宮城県	19.2	19.3	18.1	12.9	18.4	143%
秋田県	19.5	14.7	14.5	14.4	14.6	102%
山形県	19.9	18.1	16.3	14.0	8.9	64%
福島県	47.7	42.7	38.7	37.6	35.9	95%
茨城県	4.1	3.8	3.6	4.0	5.6	139%
栃木県	11.7	11.5	11.0	10.5	11.0	105%
群馬県	12.2	10.9	11.4	9.7	7.4	76%
埼玉県	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	83%
千葉県	7.9	12.1	8.9	9.4	5.0	53%
東京都	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	100%
神奈川県	0.6	0.4	0.4	0.3	0.4	145%
新潟県	7.1	7.3	6.3	23.0	26.5	115%
富山県	0.3	0.4	0.4	0.4	0.8	202%
石川県	7.5	3.5	2.8	2.0	3.2	158%
福井県	12.0	9.5	8.5	5.3	5.7	107%
山梨県	13.6	12.0	9.9	10.2	8.1	80%
長野県	63.8	60.4	60.7	60.7	65.6	108%
岐阜県	3.1	2.8	2.7	1.5	1.6	102%
静岡県	12.4	8.0	8.3	11.4	13.4	117%
愛知県	7.6	6.4	6.2	4.9	3.7	74%
三重県	6.3	3.8	3.6	3.1	3.0	97%
滋賀県	3.8	2.6	2.3	1.0	1.8	176%
京都府	22.8	19.5	20.0	17.9	20.6	115%
大阪府	2.7	2.7	2.7	2.3	2.3	99%
兵庫県	10.1	9.7	10.0	10.3	12.3	119%
奈良県	1.9	1.6	1.8	1.5	1.3	85%
和歌山県	2.5	0.7	0.6	0.4	0.5	124%
鳥取県	20.2	13.4	16.5	13.7	22.3	163%
島根県	22.0	21.4	26.6	127.4	106.2	83%
岡山県	24.0	18.0	17.9	12.9	11.6	90%
広島県	36.4	34.7	27.3	20.4	17.6	86%
山口県	25.4	22.9	22.2	20.8	22.8	109%
徳島県	0.7	0.7	0.8	0.5	0.5	116%
香川県	16.6	16.8	19.8	18.5	19.4	105%
愛媛県	6.7	7.5	7.0	5.0	5.2	105%
高知県	0.3	0.4	0.3	0.2	0.1	69%
福岡県	5.9	5.9	8.5	15.6	21.2	136%
佐賀県	0.6	0.5	0.6	0.4	0.4	126%
長崎県	7.3	2.6	4.0	3.0	1.6	54%
熊本県	7.7	6.3	2.4	1.9	1.3	66%
大分県	0.7	0.6	0.6	0.5	0.3	60%
宮崎県	3.5	3.4	3.5	3.6	3.6	98%
鹿児島県	60.6	95.6	94.7	82.2	83.3	101%
沖縄県	21.4	15.9	14.3	10.0	4.8	49%
合計	626.1	593.8	581.6	645.4	643.1	100%

- 1 民有林については、都道府県からの報告による。
- 2 国有林(官行造林地を含む。)については、森林管理局からの報告による。
- 3 都道府県ごとに単位以下第二位を四捨五入した。
- 4 四捨五入により合計と一致しない場合がある。

(資料 1)

全国の松くい虫被害量 (被害材積) の推移

万m³



年度

平成25年度 松くい虫被害調査結果(25.9月末現在)

単位:材積m3

地事	H24被害量	H25被害量		県内地事別比率 (9月末現在)
		9月末	対前年同期 (9月末現在)	
佐久	5,173	2,481 3,724	150%	6%
上小	26,010	18,028 20,493	114%	34%
上伊那	3,853	3,195 2,930	92%	5%
下伊那	3,801	2,716 3,174	117%	5%
木曾	133	18 349	1939%	1%
松本	11,844	8,305 14,519	175%	24%
北安曇	5,584	5,483 7,785	142%	13%
長野	8,093	5,070 7,686	152%	13%
北信	250	155 463	299%	1%
計	64,741	45,451 61,123	134%	100%
増減(H24-H25)		15,672		

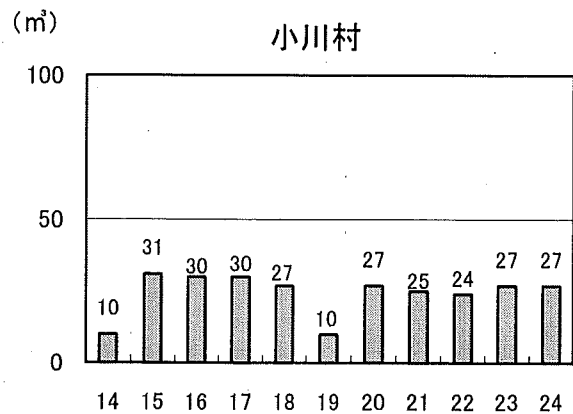
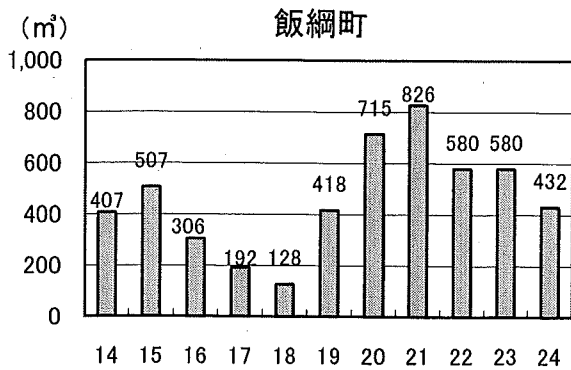
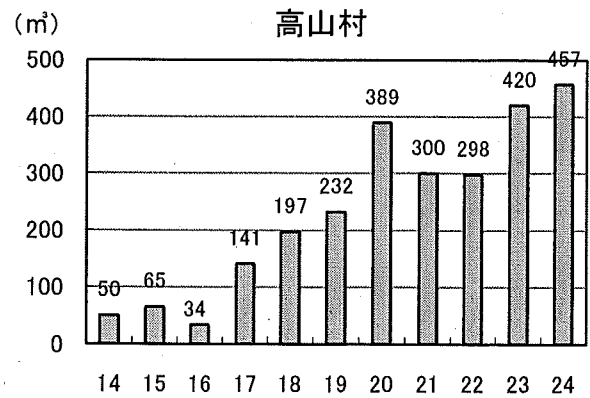
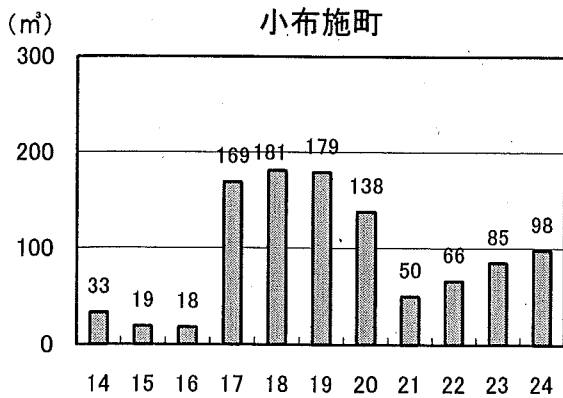
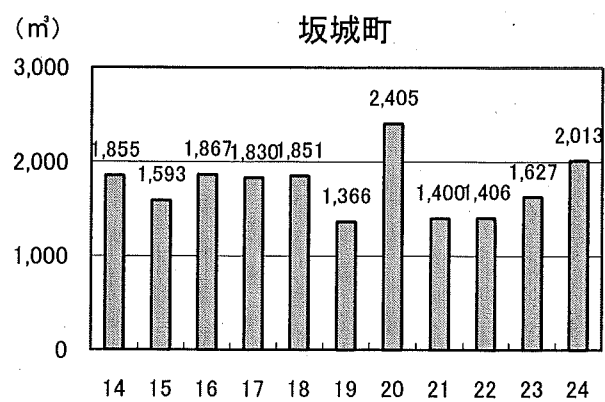
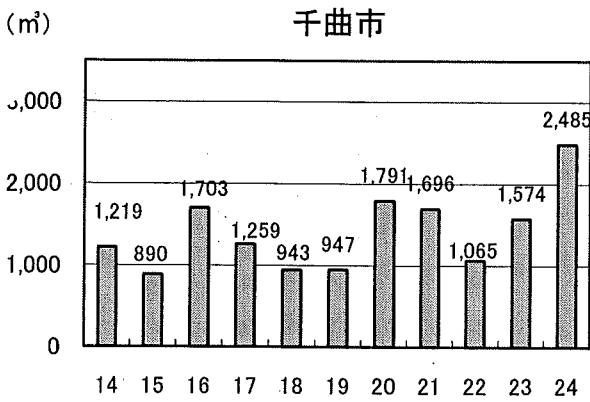
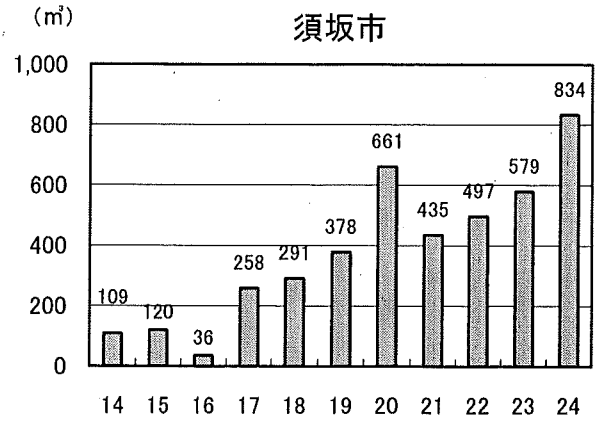
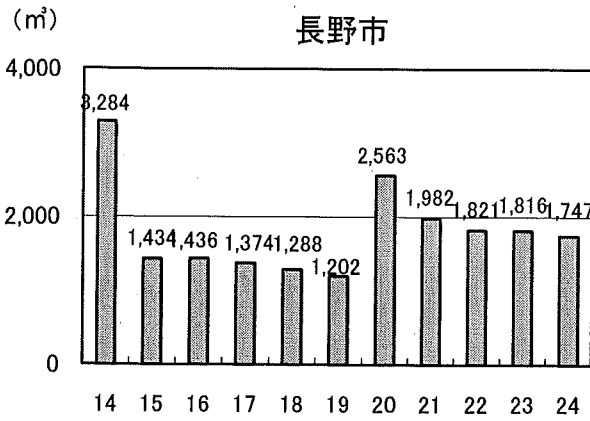
* 上段は前年同時期の値

長野地域の被害状況

単位:材積m3

市町村	H24被害量	H24年9月末	H25年9月末	対前年同期 (9月末現在)
長野市	1,747	1,057	1,581	150%
須坂市	834	464	431	93%
千曲市	2,485	2,080	3,010	145%
坂城町	2,013	656	1,575	240%
小布施町	98	67	106	158%
高山村	457	306	534	175%
飯綱町	432	432	430	100%
小川村	27	8	19	238%
計	8,093	5,070	7,686	152%

市町村別松くい虫被害量の推移



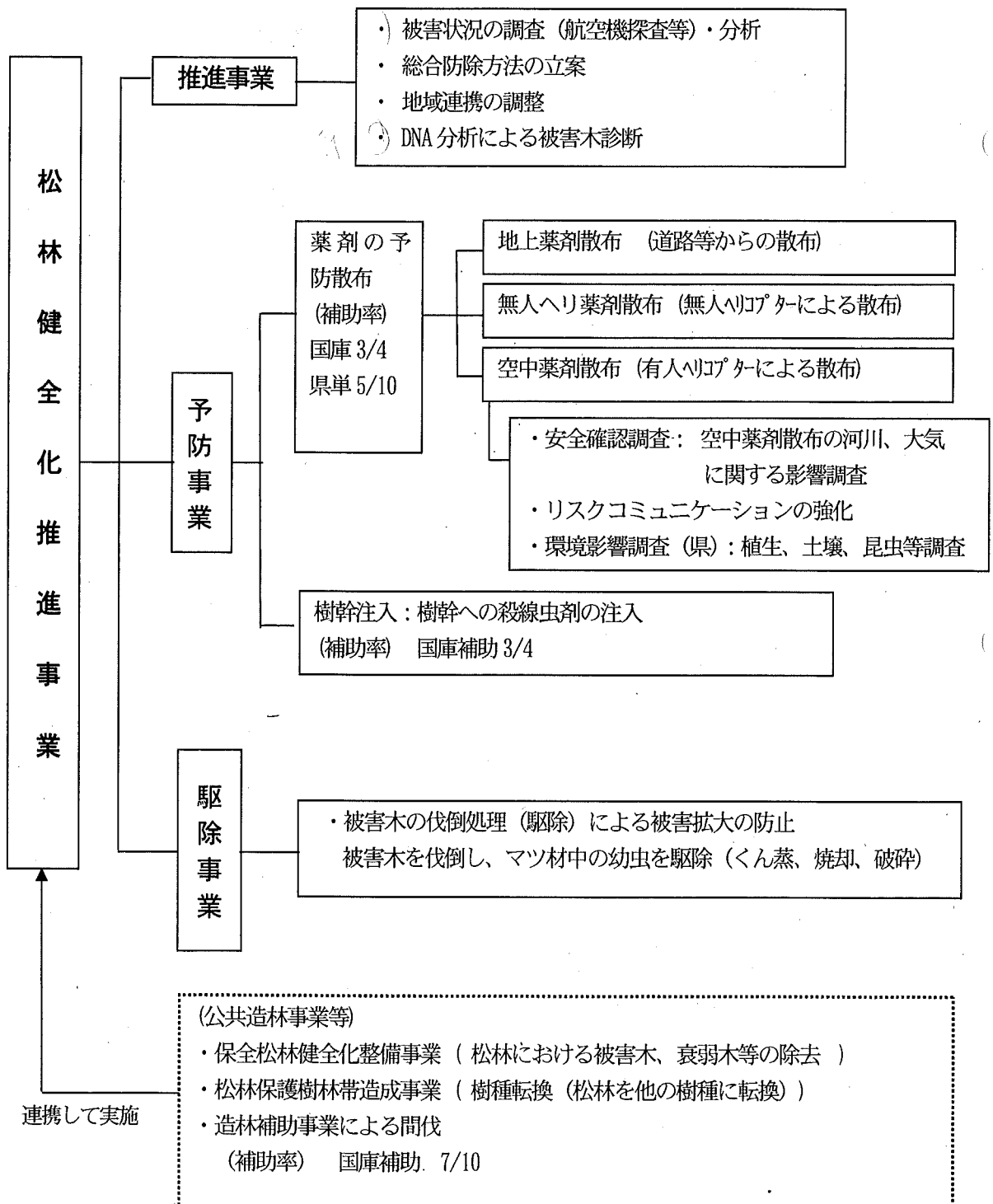
3 県の平成 25 年度防除対策方針について

急峻で脆弱な県土における防災、信州の原風景の保全上重要な役割を果たしているアカマツ林を保全し、枯渇しつつあるアカマツ材やマツタケ等の林産物の確保を図るため、松くい虫被害の拡大を防止するとともに、被害の沈静化を図ります。

(1) 平成 25 年度 取り組み方針

市町村の枠を越えた連携と、各種対策を有機的に組み合わせた総合防除の徹底的な実施により、効率的かつ効果的な松林の健全化を推進します。

(2) 事業体系



(3) 予算額 (案)

232,603千円

うち国庫等	178,047千円
一般財源	54,556千円

〔松林健全化推進事業内訳〕

(単位：千円)

事業名		H25予算 (案)			H24予算 (当初)			予算額前年 対比 (%)	
		面積等 (ha, m ³)	予算額 (案)	国庫等 一般	面積等 (ha, m ³)	予算額 (案)	国庫等 一般		
推進事業			333	112		1,230	565	27.1	
				221			665		
予 防 事 業	薬 劑 散 布 事 業	地上薬剤散布事業	94.29 ha	6,162	2,796 3,366	97.98 ha	6,390 3,426	2,964	96.4
		無人ヘリコプター散布事業	45.50 ha	4,259	2,839 1,420	25.00 ha	2,325 775	1,550	183.2
		空中薬剤散布事業	245.00 ha	9,206	6,137 3,069	287.00 ha	11,347 3,782	7,565	81.1
	安全 確 保 推 進 対 策	安全確認調査	184 検体	4,485	2,990 1,495	184 検体	3,788 1,263	2,525	118.4
		リスクコミュニケーション強化	6 市町村	656	437 219	7 市町村	1,050 350	700	62.5
		環境影響調査	1 地区	5,000	5,000	1 地区	5,000	5,000	100.0
	樹種転換促進事業		m ³	0		374 m ³	505	505	皆減
樹幹注入剤利用松林保全 対策事業		370 本	3,441	2,294 1,147	460 本	4,278 1,426	2,852	80.4	
駆 除 事 業	通常 駆 除	国庫補助	8,467 m ³	130,856	87,237 43,619	8,142 m ³	122,013 40,671	81,342	107.2
		県単補助	m ³	0		6,618 m ³	66,180	66,180	皆減
	松くい虫被害緊急対策事業 (*)		6,608 m ³	68,205	68,205 0	m ³			皆増
計			232,603	178,047 54,556		224,106	105,063 119,043	103.8	

* 森林整備加速化・林業再生基金事業活用 (H24県単補助から移行)

〔参考〕

公共造林事業の活用

(単位：千円)

事業名	H25予算 (予定案)			H24予算 (当初)			予算額前年 対比 (%)
	面積等 (ha, m ³)	予算額 (案)	国 庫 一 般	面積等 (ha, m ³)	予算額	国 庫 一 般	
・ 保全松林健全化整備事業 ・ 松林保護樹林帯造成事業		448,000	320,000 128,000		245,800	175,572 70,228	182.3

長野地域の松くい虫防除事業実績と計画

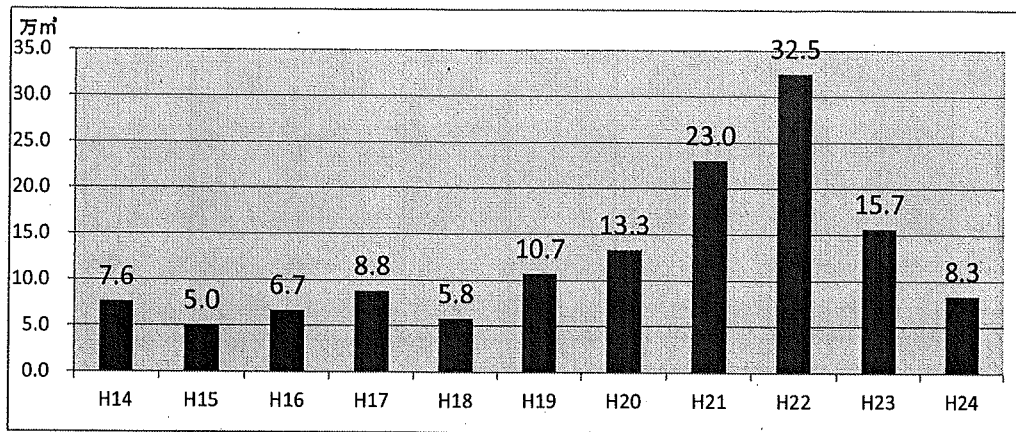
長野地域の松くい虫対策事業の実績と計画

単位:事業量(m3、ha)、金額(千円)

事業区分		事業主体	24年度実績		25年度計画	
			事業量	事業費	事業量	
国有林		北信森林管理署	62	904.8	50	
		計	62	904.8	50	
民有林	松林健全化推進事業	伐倒駆除 補助率 国庫 3/4 県単 1/2	長野市(国庫)	665	14,014	600
			須坂市(県単)	475	9,938	470
			千曲市(県単)	570	10,773	700
			坂城町(県単)	400	8,400	400
			小布施町(県単)	91	1,883	100
			高山村(県単)	310	6,527	310
			飯綱町(国庫)	110	2,199	110
			小川村(県単)	27	567	27
			小計	2,648	54,301	2,817
	松林健全化推進事業	特別防除 補助率 3/4	千曲市	125.00	7,764	125.0
			坂城町	25.00	2,116	25.0
			小計	150.00	9,880	150.0
		地上散布 補助率 国庫 3/4 県単 1/2	長野市(県単)	15.91	1,454	15.91
			須坂市(国庫)	21.13	2,125	21.13
			千曲市(国庫)	0.30	30	0.30
			飯綱町(国庫)	1.50	150	1.50
			小計	38.84	3,759	38.84
		保全松林緊急整備事業	衛生伐	長野市	610	14,273
	須坂市			300	7,400	
	千曲市			195	3,787	600
	坂城町			450	9,103	500
	高山村			135	3,500	
	小計			1,690	38,063	1,700
	補助率 7/10	植栽	森林組合(坂城町)			1.00
		下刈	生産森林組合(坂城町)	1.18	141	2.18
		特殊地拵え	森林組合(坂城町)	1.00	2,013	
		小計	2.18	2,154	3.18	
計				108,157		
合計			4,400 191.02	109,061.8	4,567 192.02	

- 注) 1) H21年度より長野市、飯綱町が県単から国庫補助へ移行
 2) 特別防除の事業費及び補助金額には安全確認調査等を含む。
 3) 平成25年度事業量は要望等計画数値。

ナラ枯れ被害量(被害材積)



・全国の年度別被害量の推移

区分	年度					対前年度比
	H20	H21	H22	H23	H24	
青森県	—	—	0.0	—	—	
岩手県	—	—	—	0.0	0.0	
宮城県	—	0.1	0.8	0.9	0.6	73%
秋田県	0.0	0.2	0.7	2.9	3.7	127%
山形県	27.4	58.5	66.9	43.9	17.9	41%
福島県	4.1	5.1	4.2	3.9	3.1	80%
群馬県	—	—	0.0	0.0	0.0	
東京都	—	—	4.2	0.1	—	皆減
新潟県	31.6	35.2	49.1	16.7	1.6	9%
富山県	23.5	32.6	19.5	2.1	0.6	29%
石川県	2.9	2.9	14.9	2.3	0.7	29%
福井県	1.8	1.5	2.7	2.1	0.4	18%
長野県	7.5	10.7	10.9	4.0	2.9	71%
岐阜県	3.2	14.1	25.9	15.9	4.7	30%
静岡県	—	—	0.0	0.1	0.2	400%
愛知県	2.4	35.5	41.5	27.1	13.6	50%
三重県	0.2	0.2	1.0	0.0	1.0	3718%
滋賀県	1.7	1.3	4.5	2.6	2.9	114%
京都府	22.2	24.0	38.5	16.8	17.0	101%
大阪府	—	0.1	0.4	1.1	2.2	203%
兵庫県	0.7	0.9	3.1	2.3	1.0	44%
奈良県	—	—	0.2	0.2	0.7	301%
和歌山県	0.0	0.1	0.2	0.3	0.1	23%
鳥取県	2.4	3.2	6.6	4.3	1.6	38%
島根県	1.1	2.4	8.6	4.2	2.2	51%
岡山県	—	0.0	0.1	0.2	0.3	194%
広島県	0.3	1.0	3.6	1.9	1.4	75%
山口県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	155%
長崎県	0.0	0.2	—	—	—	
宮崎県	—	—	0.2	0.0	0.0	425%
鹿児島県	0.2	0.2	16.8	0.8	2.6	331%
合計	133.3	230.2	325.1	156.7	83.3	53%

- 1 民有林については、都道府県からの報告による。
- 2 国有林(官行造林地を含む。)については、森林管理局からの報告による。
- 3 都道府県ごとに単位以下第二位を四捨五入した。四捨五入により合計と一致しない場合がある。

長野県のナラ枯れの推移

単位:本

地町	市町村名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25.8	H25/H24
下伊那	飯田市				2	18	20	16		
	阿南町				14	11	23	6	2	
	阿智村							1	46	
	天龍村				111	72	114	15	15	
	泰阜村							23		
	平谷村						45	81	97	
	根羽村						14	115	23	
	売木村						18	12	16	
	小計			0	127	101	234	269	199	74.0%
木曾	南木曾町							14	194	
	大桑村								9	新規
	小計	0	0	0	0	0	0	14	203	15
北安曇	小谷村			22	807	2,000	1,200	1,460	320	
	白馬村				3	46	37	29	18	
	小計			22	810	2,046	1,237	1,489	338	22.7%
長野	長野市					25	2	9	11	
	信濃町	20	33	100	115	140	80	39	19	
	小布施町						2	23	26	
	飯綱町						5	5	8	
	小計	20	33	100	115	165	89	76	64	84.2%
北信	中野市	2	1		48	385	215	148	81	
	飯山市	906	2,178	3,139	4,084	2,703	1,085	826	115	
	山ノ内町				15	29	41	10	10	
	木島平村				97	615	457	334	69	
	野沢温泉村	46	417	1,200	1,837	2,916	669	375	24	
	栄村	125	1,174	4,327	5,347	3,850	604	233	11	
	小計	1,079	3,770	8,666	11,428	10,498	3,071	1,926	310	16.1%
計	1,099	3,803	8,788	12,480	12,810	4,631	3,774	1,114	29.5%	

注) H25.8 末現在の被害は 20 市町村

対策の実施

- H24 年度実績: 2,546 千円 (伐倒駆除 81 m³・粘着剤塗布 16 本・樹幹注入 44 本)
- H25 計画 予算: 2,022 千円 (伐倒駆除 43 m³・粘着剤塗布 15 本・樹幹注入 82 本)